

拝啓

梅雨あけてほっとするまもなくこの暑さ、皆様方ご健勝にてお過しのことと拝察致しております。

1月17日の阪神大震災からもう早くも半年が経とうとしています。

皆様方から戴きました、暖かい激励のお言葉、お見舞の心遣い大変有り難く思っております。

遅ればせながら厚く御礼申し上げます。

芦屋の地で亡き父萬壽男の跡を継ぎ、ささやかな医院を開きましたのが昭和55年11月でした。

皆様方に教えられ、育てられて診察するのが楽しくってしかたがないという心境になってきた矢先のことでした。

今もって耳にこびりついていますあの形容し難い巨大な音、はじき飛ばされまいと必死に這いつくばった長い、激しい揺れ。

「止めてー。止めてー。」と大声で叫んでいました。

改築時に二階診療所部分に鉄枠の入り口を作ったお陰で、瞬時の倒壊はかろうじて免れましたが土埃と共に、鴨居は目の前まで落ち、柱は大きく傾いてしまいました。

ぶらん、ぶらんになった階段の踏み板を飛び降りるようにして、家族は無事逃げ出すことが出来ました。

これも亡き父と母が助けてくれたものと思っております。

残念乍ら、診療所と自宅は跡かたもなく更地になってしまいました。

避難所、友人宅などを転々としていましたが、4月からはJR芦屋駅前のマンションを借りることが出来ました。

来る日も、来る日も、引越しに追われていたような日々でした。

お陰でダン・ボールの解体、製作は上手になりました。

診療所の方は、なんとか芦屋で再開しようと考えておりましたが、不運なことに、公光町の地番は区画整理の網がかぶさってしまいました。

どうしたものかと思案しておりました頃、奈良県立医大小西陽一教授から、堺の方へ出てこないかとお誘いを受けました。

有り難いお話ですし、一方なんとか芦屋で再興すべしの声も聞こえ、大変悩みました。

一時は全く止めていました酒も少しは飲んでみたり、体重は減り、頭髮は薄くなり、

“地震さえなかったらなぁ”とぼやいてみたり

典型的PTSD（心的外傷後ストレス障害）に罹ってしまいました。

ようやく決心をしたのは5月の連休明けの頃でした。

芦屋の医師会の先生方は、頑張ってこいやと快く送り出してくださいました。
過分にも福岡昭吉医師会長から、感謝状まで戴きました。

これが一番嬉しかったことです。

大切に家宝としておいておきます。

さて、堺の方は、私が医師として初めて勤務した地であります。

耳鼻咽喉科医としてのすべてを教えていただいた大阪労災病院があります。

医師として生まれ育った所へ帰って来た次第です。

今まで本当に私たち家族には皆様方からの暖かさ、やさしさ、思い遣り、という貴重な投薬をしていただきました。

ややもすればくじけそうになる時に、ぐっぐっと前進する原動力になりました。

あの忌しい激しい揺れの振幅が大きかった分、それをバネにして禍い転じて福になさねばと思っております。

力一杯頑張ることのみが、皆様方からの励ましに答える唯一の道であります。

Start From 0からもう一度チャレンジしてみます。

どうか、旧倍にも増して御指導御鞭撻賜りますようどうぞよろしく御願ひ致します。

今年も昨年同様暑い夏となりそうです。

どうか向暑の折、御自愛下さい。

平成7年7月
上 塚 弘

こんなぐらいでは負けまへん！

診察所 〒590 堺市中瓦町1-4-20
(松本ビル2F)

上 塚 耳 鼻 咽 喉 科

TEL 0722 (33) ^{みみ}8741 ^{はなよい}

FAX 0722 (33) ^{みみ}8740 ^{はなしまる}

自 宅 〒659 芦屋市大原町9-1-504

TEL 0797 (22) 5191